

「第1回 埼玉県ボッチャ大会」実施要項

1 目的

東京2020パラリンピック競技大会の競技種目であり、障害のある方とない方が一緒に楽しむことができる「ボッチャ」の大会を開催することで、東京パラリンピックに向けて障害者スポーツに対する興味と関心を深めてもらうとともに、障害のある方とない方の交流を図る。

2 主催

埼玉県

3 協力

埼玉県ボッチャ協会

4 期日

令和元年10月5日（土）

5 会場

埼玉県立武道館 主道場（上尾市日の出4-1877）

6 参加要件

- （1）1チームあたり3～5人とし、最大32チームで実施する。
- （2）選手の年齢、障害の有無及びボッチャ経験の有無は問わない。
- （3）ボッチャの基本的なルールを理解しておくこと。

7 参加費

無料

8 競技方法

（1）全体ルール

ア 基本的なルールは、「日本ボッチャ協会競技規則」に則る。

イ 大会は団体戦とする。予選リーグを行った後に決勝トーナメントを行い、1～3位を決定する。

ウ 1ゲームにおける出場選手は3人とし、各ゲーム前に決定する。出場選手の交代については、エンドとエンドの間に審判に申告した場合にのみ認められる。

エ 試合前のウォームアップは1分間、または全員が投げ終わるまでとする。

オ 1ゲーム2エンドで行い、1エンドあたり1人2球を投げる。ジャックボールはチームの誰が投球しても良い。

カ チームの1エンドの持ち時間は4分とする。ただし、障害のある選手が競技をしているエンドについてはそのチームの持ち時間は5分とする。

キ 反則については、基本的に取らないが、以下の行為について、審判から注意を促されても繰り返す場合には、ルールに則った反則を取ることがある。

【注意の対象行為】

- ・ スローイングライン、スローイングボックスの線を踏んで投球する。
- ・ 自分の持ち時間以外にボールを投げたり投球準備をしたりする。
- ・ ランプの選手とアシスタントがエンド中に喋る。
- ・ ランプ使用選手のアシスタントがエンド中にコートを見る。
- ・ ランプの選手の明らかな同時投球・自動投球がある。
- ・ コーチあるいは控え選手が試合中に選手に助言をする。

※今大会はランプのスイングについては注意、反則はとらない。

(2) 予選リーグ

ア 予選リーグは1リーグ4チーム、計8リーグで行う。

イ 4チームの総当たり戦を行い、各リーグ上位1位のチームが決勝トーナメントに進出する。リーグの順位決定方法は、①勝ち数 ②直接対決の勝者 ③得失点差の多いチーム ④総得点の多いチーム とする。それでも決まらない場合は、各チーム代表者による1球のみのタイブレークにより決定する。

(3) 決勝トーナメント

ア 各予選リーグから進出した8チームにより、トーナメント形式で行う。

イ 1回戦、準決勝、3位決定戦、決勝を行い、1～3位を決定する。

ウ 同点の場合は、1球のみのタイブレークにより勝利チームを決定する。ただし、決勝戦と3位決定戦で同点となった場合は6球ずつのタイブレークとする。

9 表彰

決勝トーナメントによる1～3位のチームを表彰する。また、特別賞を設けて該当チームを表彰する。

10 大会日程

時間	スケジュール
9:30～	受付
10:15～10:50	開会式
11:00～13:30	予選リーグ
13:30～14:30	休憩
14:30～16:30	決勝トーナメント
16:30～16:55	閉会式

※現時点での予定であり、今後変更の可能性がある。

11 申込方法及び出場チームの決定

- (1) 別紙「申込書」に必要事項を記入し、FAX・電子申請のいずれかにより事務局に申し込む。
- (2) 申込期限は、令和元年9月11日(水)必着とする。
- (3) 申込チーム数が募集チーム数を上回った場合は抽選により出場チームを決定する。

12 その他

- (1) ランプ(投球補助具)使用者はアシスタントを用意すること。なお、アシスタントはそのエンドで競技していない同じチームの選手が兼ねることができる。
- (2) 主催者、協力団体及び協賛団体が記録として撮影した写真や動画の素材は、後日、主催者の広報活動等に使用する可能性がある。また、報道関係者等の取材があった場合は、新聞やテレビ等のメディアで報道される可能性がある。

13 事務局

埼玉県福祉部障害者福祉推進課 障害者スポーツ担当

〒330-9301

さいたま市浦和区高砂3-15-1

電話 048-830-3303

FAX 048-830-4789

ホームページ <http://www.pref.saitama.lg.jp/>